

### みずほCustomer Desk Report 2017/10/31号(As of 2017/10/30)

#### 【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値	113.75
TKY 9:00AM	113.71	1.1607	131.97	0.9981	GBP/USD	1.3135
SYD-NY High	113.83	1.1658	132.28	0.9996	AUD/USD	0.7691
SYD-NY Low	113.02	1.1595	131.46	0.9939		0.7656
NY 5:00 PM	113.19	1.1651	131.85	0.9944		0.7688
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)		7.72/8.05	Δ25RR	0.755	Yen Call Over	
NY DOW	23,348.74	▲85.45	債券市場	日本2年債	-0.1550	▲1.1bp
NASDAQ	6,698.96	▲2.30		日本10年債	0.0700	▲0.3bp
S&P	2,572.83	▲8.24		米国2年債	1.5737	▲1.4bp
日経平均	22,011.67	3.22		米国5年債	1.9951	▲3.3bp
TOPIX	1,770.84	▲0.21		米国10年債	2.3684	▲3.8bp
シカゴ日経先物	21,910.00	▲165.00		独10年債	0.3670	▲1.6bp
ロンドンFT	7,487.81	▲17.22		英10年債	1.3350	▲1.3bp
DAX	13,229.57	12.03		豪10年債	2.7300	▲4.4bp
ハンセン指数	28,336.19	▲102.66	為替市況	USD/CNH	6.6369	▲0.0110
上海総合	3,390.34	▲26.48		ドルインデックス	94.56	▲0.36
USDJPY 3M Vol	8.35	▲0.14%	商品市況	CRB指数	187.530	0.64
USDJPY 6M Vol	8.99	▲0.14%		NY金	1,277.70	5.90
EURJPY 3M Vol	7.71	▲0.07%		WTI	54.15	0.25
EURJPY 6M Vol	8.99	0.01%		Dubai Spot	58.60	1.41

#### 【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
10月30日	19:00	欧	消費者信頼感・確報	10月 -1.0
	21:30	米	PCEコアデフレーター(前月比/前年比)	9月 0.1%/1.3%
	21:30	米	個人所得/個人支出(前月比)	9月 0.4%/1.0%
	22:00	独	CPI(前月比/前年比)・速報	10月 0.0%/1.6%

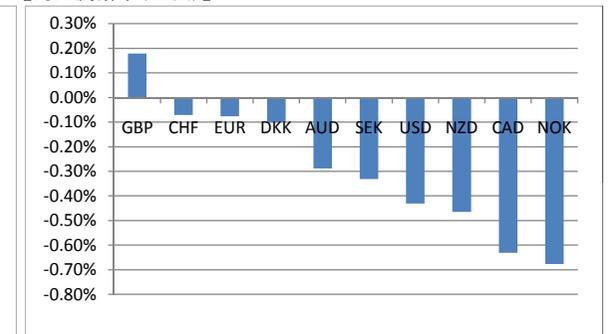
#### 【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
10月30日	8:50	日	鉱工業生産(前月比/前年比)・速報	9月 -1.6%/2.0%
	10:00	中	製造業/非製造業PMI	10月 52.0/-
	-	日	日銀金融政策決定会合	-
	15:30	日	黒田日銀総裁 会見	-
	19:00	欧	GDP(前期比/前年比)・速報	3Q 0.5%/2.4%
	19:00	欧	CPI(前年比)	10月 1.5%
	21:30	米	雇用コスト指数	3Q 0.7%
	22:45	米	シカゴ購買部協会景気指数	10月 60.0
	23:00	米	消費者信頼感指数	10月 121.3

#### 【ドル円相場】



#### 【対円騰落率(日次)】



#### 【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	112.80-113.50	1.1590-1.1700	131.00-132.50

#### 【マーケットインプレッション】

昨日の海外市場でのドル/円は軟調な値動きとなった。昨年の米大統領選に絡むロシア疑惑で、トランプ陣営の2名が起訴された。また、トランプ大統領と共和党指導部は法人税率引き下げの段階的な導入を協議している、との報道が、減税による景気刺激効果は限定的にとどまると嫌気されて、米株が軟調に推移し、米長期金利も低下したことを受けて113.02円まで下押しする展開となった。本日は113円台前半を中心とした動きづらい値動きを予想する。昨日のリスク回避の地合いが続くことも考えられるが、最近の米経済指標は強い結果となっているものが多く、ドルの下げ余地は限定的と思われる。次期FRB議長は、11月2日に公表する見通しをホワイトハウス当局者が明らかにしていることもあり、様子見ムードが強まり、レンジ内での値動きとなりそうだ。また、本日は日銀金融政策決定会合、黒田総裁の会見が予定されているが、現状維持となり、無風で通過すると見込まれる。

東京	週明け東京時間のドル円は113.71レベルでオープン。仲値にかけて実需フロー主導でドル買い優勢の流れとなると、一時113.81まで上昇。しかし、フォローしなくすぐに113.70近辺まで反落すると、その後も上値の重い推移が続き、徐々に113.52まで値を下げた。午後に入り、日経平均株価が動意に乏しい展開となったことを横目に、ドル円も113円台前半での揉み合い推移に終始した。113.64レベルで海外時間に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、113.64レベルでオープン。様子見ムードが続き、オープンレベルから方向感乏しく推移し、113.66レベルでNYに渡った。ロンドンドルは、1.3147レベルでオープン。ハモンド財務相が来月実施する秋の財政演説(11月22日、Autumn Statement)で、財政赤字削減目標を撤回するとの思惑が浮上したことや、今週2日(木)に予定される英中銀金融政策委員会に利上げするとの見方が強まる中、1.3194まで値を上げて1.3188レベルでNYに渡った。ユーロドルは1.1615レベルでオープン。世論調査で独立支持派の劣勢が明らかになったことや、先週末にカタルーニャ州議会が独立決議を可決するも、わずか数時間後にはスペイン政府が州首相、閣僚解任と州議会解散に踏み切り、州警察のトップも解任されたことから、同州がスペインから独立することは難しいとの受け止め方が支配的となり、ユーロが買い戻される展開。1.1642まで上昇し、1.1632レベルでNYに渡った。(ロンドンタイムズ 00531 444 179 山本)
ニューヨーク	NY時間のドル円は113.66レベルでオープン。朝方は米9月個人所得・支出が予想とほぼ一致し、同時に発表されたPCEコアも予想と一致したことから、ドル円の反応は限定的。しかし、ロシア疑惑でトランプ陣営の元選対本部長のマフオト氏と他2名が立件されたことから、株式市場が軟調に推移し米金利も低下。ドル円は上値を切り下げ113.02まで下落した。午後は一報報道機関が次期FRB議長はパウエル氏になる模様と報じたものの、予想されていたことからドル円の反応は限定的となり、その後は株式市場が下げ渋ったことからドル円の下落も一服し、113.19レベルでクロスした。一方、ユーロドルは1.1632レベルでNYオープン。朝方は米株先物が下落する展開にユーロ円の売りが強まり、ユーロドルも連れて1.1604まで下落する。しかし、その後は米金利低下を受けたドル売りに、ユーロドルは下値を切り上げて1.1646まで反発。その後、一旦下押しする局面があったものの、ロシア疑惑を背景としたドル売り地合いが継続したことからユーロドルは1.1658まで上昇し、1.1651レベルでクロスした。(NY井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。